

料金別納郵便

産と学の最先端テクノロジーがつくる「新しい未来」

Tohoku
University
Innovation Fair



TOHOKU
UNIVERSITY

1.28 [tue] 参加無料
10:30~17:00

仙台国際センター

同時開催 産学官連携フェア2014 winterみやぎ・(一社)みやぎ工業会 第52回新春産学官交流大会

東北大学イノベーションフェア 2014

◎特別講演 ものづくりと暮らし方の潮流を創る (14:00~15:30) —ネイチャー・テクノロジー—

2004年(株)INAX(現LIXIL)取締役CTOを経て現職、ものづくりのパラダイムシフトに向けて国内外で多くの発信を続けている。特に、2004年からは、自然のすごさを書く活かすあたらしいものづくり『ネイチャー・テクノロジー』を提唱、また、環境戦略・政策を横断的に実践できる社会人の人材育成や、子供たちの環境教育にも積極的に取り組んでいる。地球村研究室代表、ネイチャーテック研究会代表、サステナブル・ソリューションズ理事長、ものづくり生命文明機構理事、アースウォッチ・ジャパン理事ほか 近著「それはエコまちがい?」(プレスアート2013)、「自然界はテクノロジーの宝庫」(技術評論社2013)、「ヤモリの指から不思議なテープ」(アリス館2011)



石田秀輝
環境科学研究所 教授



◎特別展示のご紹介 (展示テーマは裏面参照)

未曾有の大災害となった東日本大震災。東北大学では、被災地域の中心にある総合大学として、東北復興、日本再生の先導を目指し、災害復興新生研究機構を設立しました。その具体的な取り組みとして、8つのプロジェクトを中心とした推進・支援を進めており、今回の特別展示では、その研究活動・成果の一端をご紹介します。

◎アクセスマップ



仙台駅西口バスプール9番乗り場から下記路線で「博物館・国際センター前」下車
710 宮教大・青葉台 713 宮教大・成田山 715 宮教大
719 動物公園循環(青葉通・工学部経由) 720 交通公園・川内(営)

東北大学イノベーションフェア事務局(産学連携推進本部)
〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1
TEL: 022-217-6043 FAX: 022-217-6047
E-mail: g-soudan@ripip.tohoku.ac.jp

<http://www.rpip.tohoku.ac.jp/inv2014/>



+ プレゼンテーションコーナー (11:00~13:50) ~若手研究者のサイエンストーク[各回20分]

1	11:00~11:20 環境	温泉メタン発酵による 体験型エネルギー生産・エネツーリズム 農学研究科 准教授 多田 千佳
2	11:20~11:40 エネルギー	地下資源開発における 諸問題への個別要素法適用の試み 流体科学研究所 助教 清水 浩之
3	11:40~12:00 ナノテクノロジー・材料	ナノカーボン利用 次世代高性能ナノエレクトロニクスの開発 工学研究科 講師 加藤 俊顕
4	12:50~13:10 情報通信	情報通信ネットワークを変える革命児 「スマホ de リレー」 情報科学研究科 准教授 西山 大樹
5	13:10~13:30 医療機器	生体音計測による生体情報モニタリング 工学研究科 助教 奥山 武志
6	13:30~13:50 医薬	脳機能イメージングで読み解く心の仕組み 加齢医学研究所 准教授 杉浦 元亮

+ デモコーナー [各回20分](11:30~/12:30~/13:30~/16:00~)

未来の生活を豊かにする インタラクティブ コンテンツの研究

電気通信研究所 教授 北村 喜文

我々は、人との相互作用によって新たな価値を創造するインタラクティブなコンテンツに關するさまざまな研究に取り組んでいます。コンテンツを利用する「人」に、インタラクションによって、便利さや快適性、幸せな気持ちや喜びなど、少なくとも何らかのポジティブな要因を与えるのがインタラクティブコンテンツの必須の役割と捉え、それを通して人々の生活をより豊かにすることを目指して、技術確立のための研究を進めています。今回は、研究機材を会場に持ち込んで、実際のデモンストレーションを見て体験していただきます。

- (1) 複数ディスプレイをシームレスにつないで利用するインタフェース
- (2) インタラクティブで柔軟なデジタル写真群の動的表示法
- (3) 紙や布のたわみのメタファを用いた広大なコンテンツの優しい操作法
- (4) 快適なコミュニケーションのための動的空間デザイン 他